

農業と福祉の連携講座①(県北)



ステップアップしたい方

オンライン併用

無

サテライト講座

不可

開催日	令和6年10月10日(木)
開催時間	9時40分受付開始 10時00分から15時00分まで
会場	(座学)エアポートホテル熊本 (現地)株式会社なかせ農園
会場場所	熊本県大津町室1484
連絡先	TEL:096-248-6600(研修部直通)
優先する受講者	農福連携に取り組まれている農業者の方、福祉事業所の方等
定員	第1部(セミナー)80名程度、第2部(現地研修)30名程度
申込締切	令和6年9月30日(月)
講師	①株式会社笠間農園 取締役 笠間 令子 氏 ②佐賀県農業経営課 農福連携コーディネーター 藤戸 小百合 氏 ③株式会社なかせ農園 代表取締役 中瀬 靖幸 氏
講座の狙い	農福連携の優良事例の学習や現地実習を行い、農福連携の理解促進と、農福双方において支援できる人材の育成を目的に開催します。
講座の概要	別添チラシ(県北)のとおり
講座の時間配分	別添チラシ(県北)のとおり
受講上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>第1部のみ受講、第2部のみ受講、第1部、第2部両方受講が選べますので、お申し込み後に農業アカデミーから確認の御連絡をいたします。</u> ・第1部、第2部両方にご参加頂く場合は昼食をご持参ください。 ・定員に達した場合は早めに締め切る場合があります。 ・現地研修での写真撮影は禁止とさせていただきます。
受講の可否	登録されたメールアドレス宛に10月1日(火)前後に通知します。

農福連携セミナー

×

農福ジョブトレーナー育成研修

(農業アカデミー講座)

in県北

本セミナーでは、農福連携に興味のある方や農福連携を支援している方を対象に、県内外の農福連携先進事例などから、農福連携を実践、支援する方に必要な知識について学んでいただきます。

【日時】 令和6年10月10日(木)

セミナー：10時00分～12時05分

研修会：13時00分～15時00分

【場所】(座学)エアポートホテル熊本(菊池郡大津町室1484)

(現地)株式会社なかせ農園(菊池郡大津町岩坂578)

【内容】

○第1部 農福連携セミナー (定員80名) 10:00～12:05

講演①「笠間農園における農福連携

～多様な人財が活躍する農園を目指して～

講師 株式会社笠間農園 取締役 笠間 令子 氏

農福連携に
興味のある方!

講演②「取組み農家や中間支援者に求められる知識、作業細分化について」

講師 佐賀県農福連携コーディネーター 藤戸 小百合 氏

○第2部 農福ジョブトレーナー育成研修 (定員30名) 13:00～15:00

現地研修「なかせ農園における農福連携」

講師 株式会社なかせ農園 代表取締役 中瀬 靖幸 氏

農福連携の
実践者・支援者
の方!

※実際に作業現場を視察させていただきます

※現地研修会場には借上げバスにて移動します

【対象者】

農業者、各農業協同組合、熊本県経済農業協同組合連合会、熊本県農業協同組合中央会、福祉事業所、市町村、地域振興局農業普及・振興課 等

【その他】

第1部、第2部全て出席された方には修了証を交付します

講師

株式会社笠間農園

取締役 笠間 令子 氏

笠間農園は石川県河北潟干拓地にて小松菜、ほうれん草(1.7ha)露地野菜(5ha)を生産し、その経営や地域貢献等が評価され、中日農業賞や石川県知事賞を受賞されています。

2017年から農作業の委託による農福連携に取組み、ノウフクアワード2022では優秀賞を受賞。ご自身も県の農福連携コーディネーターとしてマッチングの支援をされるなど、多様な人財が活躍する農園作りを目指し、活躍されています。



佐賀県農業経営課

農福連携コーディネーター 藤戸 小百合 氏

藤戸氏は2016年から佐賀市の工賃向上コーディネーターとして農福連携に携わり、2022年からは佐賀県の農福連携コーディネーターとなり、2023年は49件、2024年は71件のマッチングを支援するなど、県域での農福連携推進に貢献されています。

振興センターやJAなど農福連携の支援者向けの研修会を開催し中間支援者の育成にも力を入れています。



株式会社なかせ農園

代表取締役 中瀬 靖幸 氏

なかせ農園は熊本県大津町にてさつまいも(13ha)を生産し、熊本県農業コンクール新人王優良賞、さつまいもサミットにて最高賞の「さつまいもオブザイヤー」「ファーマーオブザイヤー」を2年連続受賞されています。

熊本地震での被災をきっかけに2016年から障がい者雇用による農福連携に取組み、その後農作業の委託も開始。農福連携による経営面や労働環境の改善などの効果を実感し、農福連携の普及のため様々な研修会等においても講演されています。

